

ひがしどおり

No. 3 0

議会だより



主 な 内 容

- ◆ 9月定例会…………… 2～4 P
- ◆ 一般質問・臨時会・全員協議会… 4～6 P
- ◆ 委員会・視察研修等…………… 6～7 P
- ◆ 議会の動き…………… 8 P

平成21年10月30日

発行 東 通 村 議 会

編集 産業建設常任委員会

第3回定例会開かれる

平成二十一年東通村議会第三回定例会が九月二日から十一日までの七日間の会期日程で開かれました。

定例会には村長より、人事案件二件、報告案件四件、条例案件三件、決算認定案件二件、補正予算案件五件、契約案件七件、その他の案件一件合計二十四案件、議会から陳情一件が提出され、全日程、全議案が原案どおり可決されました。

開会初日は、会議録署名議員の指名、議会運営委員長報告後に会期を決定。総務企画常任委員会報告、産業建設常任委員会報告後、村長提出議案について提案理由の説明を求め、陳情一件を所管の委員会に附託、三日から八日まで議案熟考のため休会として散会。

九日は、二本柳英雄議員、川村隆議員による一般質問が行われ、続いて人事案件二件、報告案件四件を審議。

十日は、条例案件三件、決算認定案件二件、補正予算案件五件を審議。

十一日は、契約案件七件、その他の案件一件、陳情一件については所管の委員会報告後、議事日程を追加、議員発議一件を審議後閉会。

議案のあらまし

◎ 人事案件

○東通村教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて

現委員の相内軍司氏は、九月三十日をもって任期満了となり、新委員として橋本健一氏が選任されました。

○人権擁護委員候補者の推薦について

現委員の吉田一雄氏は、十二月三十一日をもって任期満了となり、引き続きその任に当たって頂くため推薦となりました。

◎ 報告案件

○平成二十年度東通村一般会計継続費精算報告書

平成十九年度から継続予算で進めてきた統合中学校外構整備事業が完了。支出額が確定したので、法の規定により報告するものです。

ことから、議会に報告するものです。

◎ 条例案件

○東通村国民健康保険条例の一部を改正する条例

出産育児一時金の支給について、国は緊急の少子化対策を平成二十一年十月から平成二十三年三月までの暫定措置として、全国一律に支給額を四万円引上げる健康保険法施行令の一部を改正する政令が公布されたことにより、条例改正するものです。

○津軽海峡地区漁業振興基金条例

津軽海峡地区における沿岸漁業の構造改善を促進し、もって、漁業の振興及び発展を図る事業に充てるため制定するものです。

○東通村立診療所医師住宅設置条例

原子力災害に備え、村民のほか原子力発電所に携わる職員健康管理に対応するため、医師の確保が最重要課題となっており、住環境整備として医師住宅を整備するため制定するものです。

◎決算認定案件

○平成二十年度東通村一般会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・下水道事業特別会計

歳入歳出決算の認定について
一般会計は、歳入総額、九十九億九千四百三十三万五千四百四十四円、歳出総額は、九十六億七千五百四十七万二千三百七十四円、差引き二億二千五百四十七万三千三百七十七円の剰余金を生じています。

国民健康保険特別会計は、歳入総額、十億九千六百六十六万五千五百五十五円、歳出総額は、十億八千七百二十万八千四百七十二円で、差引き四百四十五万五千五百八十三円の剰余金、老人保健特別会計は、歳入歳出総額とも、八千二百八十六万四千四百二十八円、後期高齢者医療特別会計は、歳入総額、五千四百四十四万五千二百五十六円、歳出総額は、四千九百五十三万八千五百六十六円で、差引き九十万七千二百円の剰余金、介護保険特別会計は、歳入総額、五億六千八百四十二万六千六百五十円、歳出総額は、五億四千八百二十八万二千二百

百四十六円で、差引き二千十四万四千四百四十四円の剰余金、下水道事業特別会計は、歳入歳出総額とも、五億九千九百九十九万九千五百十五円となりました。

○平成二十年度東通村下水道事業会計決算の認定について
収益的収入は、税抜きで三億九千五百三十四万二千四百四十二円、収益的支出は、三億八千七百九十三万三千九百十四円で七百四十万八千五百二十八円の純利益を生じております。

資本的収入は、税込みで八千五百二十一万一千円、資本的支出は、三億三千三百七十八万二千四百四十一円で、不足額の二億二千八百五十七万七千四百一十一円は、当年度分消費税資本的収支調整額百九万六千六百七十五円と建設改良積立金取り崩し額四千万円及び過年度分損益勘定留保資金三千三十二万七千九百七十三円と当年度分損益勘定留保資金一億七千七百十四万六千四百九十三円で補填対応しております。



◎補正予算案件

○平成二十一年度東通村一般会計補正予算(第三号)

むつ市に立地が計画されている使用済核燃料中間貯蔵施設に係る津軽海峡地区漁業振興関連経費十二億三千万円のほか、当初予算編成時に不確定であった事務事業等について補正するものであり、既定額に十三億円を追加。予算総額を歳入歳出それぞれ八十九億七千五百五十八万四千円とするものです。

○平成二十一年度東通村国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

平成二十年度分退職者医療交付金の確定による償還金が生じたため、既定の歳入歳出予算の総額に千万五千円を追加。予算総額を歳入歳出それぞれ十一億四千五百五十万五千円とするものです。

○平成二十一年度東通村老人保健特別会計補正予算(第一号)

平成二十年度医療費交付金、審査支払手数料交付金、国及

び県負担金の確定に伴い、それぞれ追加交付金及び返還が生じ、又、過年度分過誤調整返納金が生じたことから、既定額に六十九万六千円を追加。予算総額を歳入歳出それぞれ二百四十四万八千円とするものです。

○平成二十一年度東通村介護保険特別会計補正予算(第一号)

平成二十年度分の介護給付費、地域支援事業費の確定により社会保険診療報酬支払基金から過年度分介護給付費が追加交付になること、及び国・県・社会保険診療報酬支払基金への返還が生じたこと等から、既定額に二千二百三十四万円を追加。予算総額を歳入歳出それぞれ六億七千六百三十四万四千円とするものです。

○平成二十一年度東通村下水道事業特別会計補正予算(第二号)

過年度下水道使用料確定分と小田野沢浄化センター施設の試験運用に伴う電気料金等の追加。その結果、既定額に三十八万八千円を増額。予算総額を六億三千二百九十六万八千円とするものです。

◎契約案件

○柏木山線道路改良工事請負契約について

八月二十四日指名競争入札に付し、一億五千七百五十万円をもって野村建設株式会社を落札しましたので、本契約を締結するためのものです。

○医師住宅建設工事請負契約について

八月二十四日指名競争入札に付し、三億四千六百五十万円をもって野村建設株式会社を落札しましたので、本契約を締結するためのものです。

○物品の購入について

東通村診療所エックス線放射診断装置購入について、八月二十四日指名競争入札に付し、地方自治法施行令第六百六十七条の二第一項第八号により八千九百五十六万五千円をもって株式会社シバタ医理科むつ営業所と随意契約するためのものです。

○物品の購入について

以上二案件については、現

在東通消防署南分遣所に配属の高規格救急自動車は、平成八年三月に購入して十三年が経過し、車両の機械的な故障が頻発し運行に不安をきたしている状況で、また、搭載の高度救命処置用資機材についても、電子機器類が経年劣化している状況にあることから更新するものであり、八月二十四日に見積及び指名競争入札に付し、高規格救急自動車は二千百万円をもって青森トヨタ自動車株式会社と地方自治法施行令第百六十七条の二第一項第六号により随意契約。高度救命処置用資機材については二千二十六万五千円をもって株式会社シバタ医理科むつ営業所に落札しましたので、本契約を締結するためのものです。

○物品の購入について
消防用小型動力ポンプ付水槽車購入について、八月二十四日指名競争入札に付し、七千三百十三万二千五百円をもって有限会社丸栄消機に落札しましたので、本契約を締結するためのものです。

○物品の購入について
消防用小型動力ポンプ付水槽車購入について、八月二十四日指名競争入札に付し、七千三百十三万二千五百円をもって有限会社丸栄消機に落札しましたので、本契約を締結するためのものです。

○物品の購入について
消防用小型動力ポンプ付水槽車購入について、八月二十四日指名競争入札に付し、千五百五十万五千円をもって有限会社丸栄消機に落札しましたので、本契約を締結するためのものです。

◎その他の案件

○下北地域広域行政事務組合規約の変更について
平成二十二年四月一日から知的障害者更正施設しもきた療育園を民間移譲することに伴い、規約の一部を変更するためのものです。

◎陳情書

○陳情第三号 教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書
【採択】

◎議員提出案件

○発議第四号 教育予算の拡充を求める意見書
以上一意見書は関係大臣に提出。

一般質問

9月9日の本会議において、2人の議員が一般質問を行いました。
主な質問内容をご紹介します。

【質問者】 二本柳 英 雄 議員
川 村 隆 議員

東通村内の桜並木構想について



二本柳英雄議員

【二本柳議員】
東通村庁舎付近の村道には花壇が手入れされ、イチイの木が植林されている。今年度は、村政施行百二十周年、庁舎移転二十周年等のアニバーサリーの年に当たり、桜並木との併用の考えはないか。又、ひとみの里団地においての植生計画はどのように考えているのか。

【村 長】
平成十九年二月に村内民間十四団体の構成により、東通村環境美化運動推進協議会「美しい東通村をつくる会」が設立され、「東通村花いっぱい運動」の活動、また植栽から管理まで地域の皆様から「花と緑のオーナー」を募集し、事業が展開されている。これまで個人で、村のシンボル

ル樹であるイチイの植栽はもとより、東通小学校の花の植栽、村内二十九集落によるイチイの植栽がされてきた。桜の植樹並木については、集中的に小中学校敷地内周辺、田名部川河川敷地周辺、ふるさと広場周辺地域に桜を植栽し、桜の植樹帯とイチイ・ヤマボウシの道路植樹帯を区分して植樹活動を進めたいと考えている。次に、ひとみの里団地内植樹計画について、平成十七年「都市再生推進事業」において、ひとみの里シンボルロード両サイドにソメイヨシノ・ヤエザクラ、合わせて百本を、田名部川河川敷には平成十五年、県の事業としてオオヤマザクラ九十八本を植樹している。しかしながら、オオヤマザクラは、平坦な里には生育景観から見ても適切でないと考えており、今後、別の桜等を考慮したいと考えている。また、平成十九年には分譲地正面の山林地区に「財団法人日本宝くじ協会」より、山桜の苗木百本の提供を受け、植樹しており、ひとみの里分譲地の景観に合わせ植樹したものであり、今後とも適正な管理を続け、地域の安らぎの場としての景観向上に努めていく。外周道路の村道里線歩

【村 長】
趣旨を十分理解し、進めて参りたい。



【二本柳議員】
蒲野沢より県道尻屋線、旧北部中学校までの村道両側など、桜並木の併用延長も可能な限りお願いする。

道側の植樹計画については、現在、具体的に計画されていない状況にあるが、宅地分譲地における塀及び柵について、ひとみの里住宅団地建築協定により、景観への配慮をするよう定めており、イチイ樹の配置等について特に、住宅建築主の方々に植栽の趣旨と遵守をお願いしている。

村道沿線のモミジ並木構想について

【二本柳議員】

桑原・野牛線において素晴らしいモミジの並木があるが、その延長や反対側への植樹の考えはないか。また、その他の場所についてどのような構想を持っているか。

【村 長】

村と下北森林管理署は、貸付道路以外の国有地で、道路沿線の雑木の伐採やモミジ・オオヤマザクラの木の保全、更に民有地に桜植栽など、また、稔りふれあいロード沿いにヤマザクラを植樹している。村内における植栽・保全・保護と合わせ、今後策定される「二十一世紀東通村環境デザイン」との整合性を図り、下北森林管理署との連携・私有地などの理解を深めながら、村独自の景観形成に向け施策を講じていく。



川村 隆 議員

漁業用製氷施設について

【川村議員】

不足している漁業用製氷の対応と今後の施設建設の見通しは。

【村 長】

現在、村内において製氷施設を備えている漁協は二漁協のみであり、他漁協では業者より角氷を購入し、貯氷施設で保管・対応している現状にある。村は漁業経営が大変厳しい状況に鑑み、平成十二年に「東通村共同製氷施設整備計画」を策定し、実施に向け、全漁協をカバーできる広域的な製氷施設を一基建設する計画であったが、その後、財政確保や建設候補用地の問題等により、計画見直しの必要が生じた。改めて漁協組合長と協議を重ね、製氷施設がないこと、いか釣り事業者・氷消

費量が多いこと、更には用地確保が容易であり、良質な水も豊富であることから野牛漁港内に建設することで意見の集約を見ている。一方で施設の効率性や利便性から、北・南地区それぞれに分散建設した方がより建設波及効果が大きくなるのでは、という組合長さん方からの意見も頂いている。この件については、昨年六月定例会議会において、東京電力一号機着工による交付金を活用して建設する旨の答弁をしている。しかし、東京一号機は国の安全審査などにより着工が一年繰り延べとなったが、製氷施設については早急な対応が必要であると判断し、本年度当初予算に基本設計委託料を計上した。今後、基本設計をベースに実施設計へと進むが、将来的に漁協経営を圧迫する過大な施設とならないよう、規模決定にあたっては慎重を期し、漁協・漁業者より広く意見を聞きながら検討を進めて参る。

オフサイトセンターでの密漁監視について

【川村議員】

東通村漁場管理強化施設監視レーダーが密漁予防強化として活用され、漁場管理にその力を発揮しているが、夜の密漁を防ぐためにもオフサイトセンターによる監視カメラの対応は可能であるのか。

【村 長】

オフサイトセンターと併設した消防署において、その集中管理を行えないのか、消防本部と協議をし、人的な問題もあるが内々了解は頂いている。また施設としては、各漁協と光ファイバーで接続し、集中管理施設の整備、又、インターネット・防災無線の高速通信網整備との兼ね合いもあり、光ファイバーが敷設されるのが前提となる。光ファイバー、各漁協の情報を統合する装置など、多額の財政的投資が見込まれ、財政的見通しの中で本事業を進めて参りたい。

【川村議員】

一日も早く実現することを期待する。

原発に係わる振興策について

【川村議員】

原発漁業補償に係わる関係五漁協の振興策の進捗状況は、



【村長】

関係漁協より、全体として百十四件にわたる振興策の実施についての要望があり、村は財政的状況を見極めながら、順次、計画的にその実現に取り組んできた。追加の漁業補償交渉解決時には、関係漁協においては、当初の振興策の見直しを行い、新たな振興策として取りまとめ、全体として八十八件にわたる振興策の実施についての要望を受けている。村は、この新たな振興策についても、財政状況を見極めながら、順次、計画的にその実現に取り組んできた。

【川村議員】

知事幹旋から十七年となるが、振興策の事業実施は遅れが目立ち、関係機関との協議を頻繁に設けることを要望する。

【村長】

事業を推進するため、東京電力一・二号機、東北電力二号機が計画通り進むことが一番の条件であり、事業者に対し今後とも議会共々、要望し参る。

第四回臨時会

▼平成二十一年東通村議会第四回臨時会が八月十八日招集され、会期を一日とする日程で開かれました。去る四月二十五日、任期満了により、空席になっておりました副村長の選任に関するものであり、吉澤俊弘氏が全会一致のもと同意され、閉会いたしました。

全員協議会

★九月一日（火）

午前十時、村庁会議場にて（協議案件）

- 平成二十年度東通村一般会計・国民健康保険特別会計・老人保健特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・下水道事業特別会計歳入歳出決算概要について
- 平成二十年度東通村水道事業会計決算概要について
- 平成二十年度東通村一般会計等の決算に基づく健全化判断比率
- 平成二十年度東通村公営企業会計の決算に基づく資金不足比率

委員会から

▼常任委員会

☆総務企画常任委員会

《八月二十一日（金） 午前十時開会》

※高規格救命自動車購入事業について

※高度救命処置用資機材購入事業について

※小型動力ポンプ付水槽車購入事業について

※小型動力ポンプ付積載車購入事業について

※津軽海峡地区漁業振興基金条例（案）について

高規格救命自動車及び高度救命処置用資機材購入事業は、国の緊急経済対策事業としての財源が認められたことから購入し、南分遣所に配置することとした。小型動力ポンプ付水槽車購入事業は、平成十九年の新潟県中越沖地震を受け、原子力発電所内消化活動のため、更には事業者の自衛消防と共に連携を図るためにも、十トンの水利を積載している小型動力ポンプ付水槽車を東通消防署に整備することとした。小型動力ポンプ付積載車購入事業について



○医師住宅整備事業について
村長挨拶後、南谷会計管理者から各会計決算概要、財産状況等事項別の説明、二本柳水資源サービス課長から水道事業会計、田中経営企画課長から健全化判断比率及び資金不足比率、笹竹原子力対策課長、畑中いきいき健康推進課長、東田まちづくり整備課長から医師住宅整備事業について説明がなされ、その後、質疑が行われ閉会しました。

委員会・視察研修等

ては、消防団各分団に配属の積載車の更新であり、補助金により毎年計画的に購入しているとのことでした。当委員会として、慎重審議の結果、村当局の原案を全会一致のもと了承されました。次に「津軽海峡地区漁業振興基金条例（案）」について、津軽海峡地区沿岸の四漁業協同組合（石持、野牛、岩屋、尻屋）より、むつ市に立地が計画されている使用済燃料中間貯蔵施設への使用済燃料の海上輸送の航路が、当村の津軽海峡側に設定されたことに伴い、その航路の設定期間が長期にわたり、使用済燃料の海上輸送時には少なからず漁業の操業に対する影響があることから、村に対し、漁業振興策の実施について要望があったとのことでした。その振興策の内容は、村で進めている漁業振興計画と合致することから、「津軽海峡地区漁業振興計画」として取り組み、その財源は関係者からの協力を頂き、村において基金条例（案）を制定して、新たに基金を創設・管理運営し、基金の元金十二億三千万円及びその運用収益を活用して事業を実施するとのことでした。これを受け、委員からは基金条例（案）の内容

事業の実施期間など質問・意見が出されましたが、当委員会として慎重審議の結果、村当局の原案を全会一致のもと了承されました。

☆ 産業建設常任委員会

《八月二十一日（金）

午前十一時開会》

※村道柏木山線道路改良工事について

※医師住宅建築工事について

「村道柏木山線道路改良工事について」、村道石持砂子又線を起点とし、国道三三八号を終点とする延長約五百六十メートルの基幹道路として整備するものであり、特に中心地区の周辺整備に伴う交通量の増加に対応する重要な路線として位置付けをしているとのことでした。工事費として、柏木山線道路改良等約二億三千七百万円とのことでした。これを受け委員からは、財源、工期、生徒のスクールバス乗降場所の安全確保、工事に伴う河川汚染防止対策など質問・意見が出されましたが、当委員会として慎重審議の結果、村当局の原案を全会一致のもと了承されました。

☆ 教育民生常任委員会

《九月二日（水）

午前十時五十分開会》

※「教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書」

国における三位一体改革提唱以降、地方分権は当初の希望的ビジョンからほど遠く、補助金・交付金の抑制が先行しています。二千五年には義務教育費国庫負担金の負担割合が二分の一から三分の一に縮小され、教育行政における地方の財政負担が膨らみ続けている状況にあり、教育の機会均等の保障や教育条件改善のための予算拡充が強く求められております。国の教育行政への意識は教育現場を失望させ、最も重い人件費の全てが地方の負担となれば、教育の停滞は免れないとの観点から、採択すべきものと決しました。

視察研修等

《県下町村議会議員研修会》

去る七月十六日（木）青森

市民ホールで開催された県下町村議会議員研修会は、講師にジャーナリスト、須田慎一郎氏を迎え、「これからの政局展望」と題し、講演をして頂きました。

《下北林活議員連盟》

去る八月二十四日「森林・

林業・林産業活性化推進下北地域市町村議会議員連盟」定期総会が、下北地区市町村議会議員合同研修会と併せ、むつグランドホテルで開催されました。尚、総会において、組織力・予算等の限界、又、それぞれの議会の中で十分議論がなされ、行政に反映されている等の観点から、本議員連盟は平成二十一年度をもつて解散することが、全会一致のもと承認されました。

《町村議会広報研修会》

去る九月二十五日（金）、青

森県町村議会議長会主催による「町村議会広報研修会」が開催されました。講師に広報コンサルタント・深沢徹氏を迎え、「議会広報の作り方」と題した講演を受講しました。



議会の動き



7月	16日	県下町村議会議員研修（～17日）
	27日	青森県に対する重点要望説明会
	29日	下北林活議員連盟理事会
	30日	六ヶ所村議会・横浜町議会との交流会
8月	18日	議会運営委員会・第4回臨時会
	21日	総務企画常任委員会・産業建設常任委員会
	24日	森林・林業・林産業活性化議員連盟総会
	26日	県原子力施設環境放射線等監視評価会議監視委員会
	28日	議会運営委員会
9月	1日	議会全員協議会
	2日	村議会第3回定例会招集・教育民生常任委員会
	9日	議会本会議（～11日）
	25日	町村議会広報研修会

行政・議会の生の声を傍聴してみませんか？

○定例会は、年4回（3月、6月、9月、12月）開かれます。

○臨時会は、必要に応じて開かれます。

お問い合わせは、議会事務局（☎ 27 - 2111 内線 412・413）



編集後記

平成二十一年九月第三回定例会が二日開会され、提出議案二十四件を議決、陳情書一件を採択し、十一日閉会しました。

教育民生常任委員会に引き続き、産業建設常任委員会が七月から九月までの議会の動きをまとめました。

今後も引き続き、議会の役割として、公正で、客観的な記事、地域住民に親しまれる、読みやすい、わかりやすい議会だよりづくりに努めますので、村民皆様の暖かいご指導、ご協力をお願い申し上げます。

次回は、総務企画常任委員会の担当です。